

# 国をはかる 「モ/サシ」の話 (GNP から GNH)

～「幸福度」ランキングから見えてくるもの～

(「幸福度」ランキングの数値については、坂本光司&幸福度指数研究会・著  
『日本でいちばん幸せな県民』PHP 研究所 2011.11 刊を使用した)

清水書院

# 国をはかるモノサシ



私たちは、世界中のさまざまな国の特徴や差異を知るために、定量化した数値により、国の経済力や教育・文化程度などを比較・分析することができる。国土の面積や人口などはもちろんだが、いろいろな統計資料をもとに数値化して示す指標もある。それは、その国の政府がどんな国をめざすのかという、政治的な指針とするためだったり、経済的な目標とするために用いられたいしている。

ここでは、ニュースや新聞などでよく使われている指標を紹介し、さらに、近年注目を浴びている新たな指標についてもみていく。

## GDP (Gross Domestic Product) = 国内総生産

国内で一定期間内に生産されたモノやサービスの付加価値の合計額をいう。一般的には国内総生産額から中間投入額を差し引いたもので表される。「国内」という名称の通り、日本企業が海外支店等で生産したモノやサービスの付加価値は含まない。国際的な統計資料などでも多く使用される。

## GNP (Gross National Product) = 国民総生産

国内で生み出された付加価値 (GDP) と海外から受取る純所得を加えたものをいう。GDP+ 海外からの純所得 =GNP として得られる。以前は国際的な統計資料で、比較対象の数値として使用された。

## GNI (Gross National Income) = 国民総所得

一国全体の経済を所得の面から捉えたもの。「国民」とされるのは、国外の生産やサービスの純益を含めるため、「国」としての総計が表される。数値的には上記の国民総生産 (GNP) に相当するため、近年は GNP のかわりに指標として使われることが多い。

## NI (National Income) = 国民所得

国民経済計算の数値から考えれば、「雇用者報酬」と「財産所得」と「企業所得」の合計額。また、国民総所得 (GNI) から考えれば、設備投資などにあてられる固定資本減耗分と純間接税などを差し引いたものをいう。

\* 上記 4 つの指標は人口で除した「1人当たり」の指標もある。

## HDI (Human Development Index) = 人間開発指数

国連開発計画 (UNDP) が唱えている指標で、長寿で健康な生活、知識へのアクセス、人間らしい生活の水準という 3 つの基本的な側面に着目して、人間開発の達成度をまとめて表す。3 分野の達成度の平均を 0 ~ 1 の値で表している (数字が大きいほど達成度が高い)。指標は、平均余命、就学予測年数、平均就学年数、1人当たり国民総所得 (GNI) を用いる。

さて、以下では、「幸福度」をモノサシとして、日本の都道府県を数値化した試みを紹介しよう。これは、法政大学の坂本光司教授をプロジェクトリーダーとして数値化し、まとめられたものである。47 都道府県を、40 項目にもおよぶ社会経済統計を使って詳細に分析し、「地域住民の幸福度」をはかっている。この新しいモノサシから、地域社会活性化のポイントを探る。

数値化のルールや取り扱った社会経済統計などは、指標ごとに示しているので参照されたい。

## GII (Gender Inequality Index)

### =ジェンダー不平等指数

ジェンダーに基づく不平等がどの程度存在するかを表す指数。リプロダクティブ・ヘルス (性と生殖に関する健康)、エンパワーメント、そして経済活動への参加の 3 つの側面でとらえる。リプロダクティブ・ヘルスの状況は、妊産婦死亡率と 15 ~ 19 歳の女性 1000 人当たりの出生数、エンパワーメントの状況は、立法府の議席に占める割合と中・高等教育への進学状況を基準とする。経済活動への参加状況は、労働市場への参加率で判断する。値は 0 ~ 1 の数字で表わされ、0 は完全平等、1 は完全不平等。

## GNH (Gross National Happiness) = 国民総幸福量

1976 年、ブータン国王が国際会議で提唱した指標で、国の豊かさを「経済」ではなく「幸福」ではかろうという考え方。「国民の幸福度をいかに上げるか」を国の政策目標の柱に据えるというものである。この指標については、きちんとした定義が決まっているわけではないし、具体的に数値化されているわけでもない。

ブータンが数値化を検討する際の軸として掲げている項目は、以下の 9 つである。①基本的な生活、②文化の多様性、③精神的幸福・精神衛生、④健康、⑤教育・教養、⑥時間の使い方、⑦環境、⑧地域共同体の活力、⑨良い統治。

近年注目されているのは、上記「国民総幸福量 = GNH」である。国の政策目標として経済的な側面 (GDP など) ではなく、「幸福度」を「モノサシ」として、さまざまな側面から国民の幸福をはかろうとしている。経済的豊かさと人間の豊かさが、一概にイコールとはいえない傾向にある現代社会では、こうした多角的な視点から数値化しようという指標は、歓迎されるべきものであろう。

# 総合ランキング 日本で一番幸せな県民！

「経済的規模の大小」と「幸福度」は関係するのか？  
 『日本でいちばん幸せな県民』坂本光司&幸福度指数研  
 究会 著／PHP 研究所 2011 年 11 月刊 より

順位	都道府県	評点
1	福井	7.23
2	富山	7.20
3	石川	6.90
4	鳥取	6.63
5	佐賀	6.55
5	熊本	6.55
7	長野	6.48
8	島根	6.35
9	三重	6.25
10	新潟	6.18
11	滋賀	6.13
12	香川	6.10
13	岐阜	6.08
14	山梨	6.05
14	大分	6.05
16	山口	6.00
16	徳島	6.00
18	広島	5.95
19	山形	5.93
19	静岡	5.93
21	愛知	5.90
22	岩手	5.88
22	長崎	5.88
24	岡山	5.83
25	群馬	5.80
26	栃木	5.75
27	福島	5.73
27	愛媛	5.73
27	宮崎	5.73
30	茨城	5.68
31	奈良	5.65
32	和歌山	5.63
33	千葉	5.53
33	神奈川	5.53
35	鹿児島	5.45
36	宮城	5.43
37	秋田	5.40
38	東京	5.38
39	福岡	5.28
40	青森	5.25
41	沖縄	5.20
42	京都	5.18
43	北海道	5.15
44	埼玉	5.08
45	兵庫	5.03
46	高知	5.00
47	大阪	4.75

## 【総合ランキングの分析】

「幸福度」の数値化のために、40 項目におよぶ指標を用いて調査・分析されている。その方法については下記【調査研究の方法】の通り。

ベスト3を占めるのは、北陸の3県であるが、ベスト10を見てみても、大都市近郊の地域は少ない。坂本教授によれば、そこにはある一定の傾向があると報告されている。

- ・人口規模が250万以下の小規模県であること。
- ・第二次産業（製造業）に強味をもっていること。
- ・大都市圏から離れていること。

などである。

また、以下の指標との相関関係もみられたとのことである。

- ・保育所の収容定員の指標
- ・離職率や失業率といった指標
- ・障がい者雇用の指標

など、総じて社会的弱者や労働者にやさしい項目が上位の県は上位にランクされ、下位の県は下位にランクされるという相関がみられたとのことである。

これらのランク付けや分析から、その地域の強味・弱味を明確にすることで、地域社会の活性化に向けた取り組みに、どのようなアプローチを行っていくべきかが示唆できる。

## 【調査研究の方法】

調査・分析に用いた資料は、公的な機関により継続調査されている社会経済統計の中から、「地域住民の幸福」を表現していると思われる項目40項目を抽出している。「幸福度」が高ければこの指標が高くなるはず、といった観点から選ばれた40項目は、それぞれ、プラス評価、マイナス評価などのバランスをみて、偏りがないように配慮された。多角的な視野から「幸福度」の数値化を試みている。

これらの指標を上位から順にランキングを付し、10段階評価を行って加点する。

1～5位に10点、6～10位に9点というように、5段階ずつまとめて加点し、46～47位が1点ということになる。

40の指標ごとの評点を合計し、項目数の40で除して「総合平均評点」を計算し、高い順にランキングしたものが左表となっている。

# 生活・家族部門

「生活・家族部門」からは以下の9指標を選んでいる。

## 【生活・家族部門】

[1] 「合計特殊出生率」とは、1人の女性(15歳から49歳)が、その年次に出生した平均的な子供の数のこと。この値が高ければ子供を産める環境に優れていると判断し、地域住民の幸福度が高いとした。

資料は「人口動態統計2009年」(厚生労働省)を使用した。

[2] 「未婚率」

資料は「人口動態統計2009年」(厚生労働省)を使用。

[3] 「転入率」

資料は「住民基本台帳人口移動報告2009年」(総務省)を使用。

[4] 「交際費比率」とは、その年次の家計の消費支出に占める交際費支出の割合。この値が高ければ、地域住民との関係性が強いと判断し、地域住民の幸福度が高いとした。

資料は「会計調査年報2009年」(総務省)を使用した。

[5] 「持ち家率」

資料は「住宅・土地統計調査2009年」(総務省)を使用。

[6] 「1人当たり畳数」とは、その年次の持ち家住宅の底面積を世帯人口で除し、畳数にしたもの。この値が高ければ地域住民の幸福度が高いとした。

資料は「住宅・都市統計調査2009年」(総務省)を使用。

[7] 「下水道普及率」

資料は「下水道処理人口普及率2009年」(国土交通省)を使用。

[8] 「生活保護被保険実人員比率」(保護率)とは、その年次の生活保護被保護実人員を人口1000人で除した比率。この値が低ければ生活保護世帯人口が少ないと判断し、地域住民の幸福度が高いとした。

資料は「福祉行政報告例2008年」(厚生労働省)と「住民基本台帳2008年」(総務省)を使用した。

[9] 「保育所収容役員比率」とは、その年次の保育所収容定員数を0歳から4歳人口で除した比率のこと。この比率が低ければ、子育て支援施設が充実していると判断し、幸福度が高いとした。

資料は「福祉行政報告例2010年」(厚生労働省)と「住民基本台帳2010年」(総務省)を使用した。

順位	都道府県	評点
1	長野	8.3
2	島根	7.8
3	福井	7.4
3	岐阜	7.4
5	富山	7.3
5	石川	7.3
7	三重	7.1
8	山形	7.0
9	山梨	6.8
9	鳥取	6.8
11	岩手	6.7
11	滋賀	6.7
13	新潟	6.6
13	佐賀	6.6
15	香川	6.3
16	栃木	6.2
16	山口	6.2
16	大分	6.2
19	秋田	6.1
19	長崎	6.1
21	群馬	6.0
21	広島	6.0
21	熊本	6.0
24	奈良	5.9
24	宮崎	5.9
26	愛媛	5.8
27	福島	5.7
28	徳島	5.4
29	青森	5.3
29	愛知	5.3
29	鹿児島	5.3
32	千葉	5.2
33	宮城	5.1
33	茨城	5.1
33	静岡	5.1
33	京都	5.1
33	岡山	5.1
38	兵庫	5.0
38	和歌山	5.0
40	神奈川	4.8
41	埼玉	4.6
42	沖縄	4.4
43	福岡	4.3
44	大阪	4.2
44	高知	4.2
46	北海道	4.1
46	東京	4.1

# 労働・企業部門

「労働・企業部門」からは以下の10指標を選んでいる。

## 【労働・企業部門】

[10] 「離職率（離職非就業者率）」とは、その年次の15歳以上人口で就業者および就業経験者に占める離職率非就業者の割合。この値が低ければ職場満足度が高いと判断し、地域住民の幸福度が高いと判断した。資料は「就業構造基本統計調査2007年」（総務省）を使用した。

## [11] 「総実労働時間」

資料は「毎月勤労統計調査2009年」（厚生労働省）を使用。

[12] 「有業率」とは、その年次の15歳以上人口に占める有業者（収入を得ることを目的に仕事をしている人）の割合。この割合が高ければ就業の機会が多く、地域住民の幸福度が高いとした。資料は「就業行動基本調査2007年」（総務省）を使用した。

## [13] 「正社員比率」

資料は「就業行動基本調査2007年」（総務省）を使用した。

[14] 「継続就業希望者比率」とは、その年次の有業者の占める継続就業希望者の割合。この値が高ければ職場満足度が高く、地域住民の幸福度が高いとした。

資料は「就業構造基本調査2007年」（総務省）を使用した。

## [15] 「有業者の平均継続就業期間」

資料は「就業行動基本調査2007年」（総務省）を使用した。

## [16] 「完全失業率」

資料は「労働力調査2010年」（総務省）を使用。

[17] 「障がい者雇用比率」とは、その年次の「障がい者雇用促進法」が定める企業の障がい者の雇用割合のこと。この値が高ければコンプライアンス遵守企業が多く、地域住民の幸福度が高いとした。

資料は「障がい者雇用の状況集計結果2010年」（厚生労働省）を使用した。

[18] 「欠損法人比率」とは、その年次の民間法人企業に占める欠損法人（赤字企業）の割合。この値が低ければ財務が健全な企業が多く、地域住民の幸福度が高いとした。

資料は「国税庁統計年報2008年」（国税庁）を使用。

## [19] 「作業所の平均工賃月額の実績」

資料は「作業所の平均工賃2009年」（厚生労働省調べ）を使用。

順位	都道府県	評点
1	福井	8.1
2	佐賀	8.0
3	富山	7.7
4	静岡	7.3
5	愛知	7.1
6	山梨	7.0
6	和歌山	7.0
8	山口	6.9
9	石川	6.7
10	新潟	6.6
11	岩手	6.5
11	島根	6.5
13	鳥取	6.4
14	宮崎	6.3
15	茨城	6.2
15	栃木	6.2
17	山形	6.1
17	長野	6.1
17	三重	6.1
17	滋賀	6.1
21	徳島	6.0
21	香川	6.0
21	大分	6.0
24	岐阜	5.9
24	熊本	5.9
26	鹿児島	5.8
27	広島	5.6
27	長崎	5.6
29	群馬	5.5
29	岡山	5.5
31	福島	5.4
32	青森	5.3
32	東京	5.3
32	高知	5.3
35	千葉	5.2
35	神奈川	5.2
37	埼玉	5.0
38	愛媛	4.9
39	宮城	4.8
39	秋田	4.8
39	京都	4.8
39	奈良	4.8
43	兵庫	4.6
44	福岡	4.4
45	北海道	4.3
46	大阪	3.8
46	沖縄	3.8

# 安全・安心部門

「安全・安心部門」からは以下の11指標を選んでいる。

## 【安全・安心部門】

[20] 「10万人当たり刑法犯認知件数」とは、その年次の人口10万人に対する刑法犯認知件数。この値が低ければ安全・安心な地域社会であり、地域住民の幸福度が高いとした。資料は「犯罪統計資料2010年」(警察庁)を使用した。

[21] 「10万人当たり公害苦情件数」

資料は「公害苦情調査結果報告2009年」(公害等調整委員会)を使用。

[22] 「10万人当たり交通事故発生件数」

資料は「交通事故の発生件数2009年」(警察庁)を使用。

[23] 「10万人当たり出火件数」

資料は「火災の状況2009年」(消防庁)を使用。

[24] 「100万延実労働時間当たり労働災害率」

資料は「労働災害動向調査2008年」(厚生労働省)を使用。

[25] 「1人当たり地方債現在高」

資料は「都道府県決算状況調2008年」(総務省)を使用。

[26] 「1世帯当たり負債現在高」

資料は「家計調査年報2009年」(総務省)を使用。

[27] 「1世帯当たり貯蓄現在高」

資料は「家計調査年報2009年」(総務省)を使用。

[28] 「65歳以上1人当たり老人福祉費」

資料は「都道府県決算状況調2008年」(総務省)を使用。

[29] 「手助けや見守りを要する者の率」とは、その年次の人口に占める手助けや見守りを要する人の割合。この値が低ければ社会的弱者が少なく、地域住民の幸福度が高いとした。資料は「国民生活基礎調査2007年」(厚生労働省)を使用。

[30] 「悩みやストレスのある者の率」とは、その年次の人口に占める悩みやストレスのある人の割合。この値が低ければストレスのある人が少なく、地域住民の幸福度が高いとした。資料は「国民生活基礎調査2007年」(厚生労働省)を使用した。

[31] 「悩みやストレスを相談したいが誰にも相談できない者の率」とは、その年次の悩みやストレスのある人に占める相談できない人の割合。この値が低ければ、悩みやストレスを相談できる人がまわりにおり、地域住民の幸福度が高いとした。資料は「国民生活基礎調査2007年」(厚生労働省)を使用した。

順位	都道府県	評点
1	福井	6.9
1	熊本	6.9
3	福島	6.8
3	神奈川	6.8
3	富山	6.8
6	鳥取	6.7
7	沖縄	6.6
8	広島	6.5
9	群馬	6.3
9	石川	6.3
9	徳島	6.3
12	福岡	6.2
12	大分	6.2
14	北海道	6.1
14	埼玉	6.1
14	東京	6.1
17	千葉	6.0
17	奈良	6.0
17	佐賀	6.0
17	長崎	6.0
21	茨城	5.9
22	青森	5.8
22	秋田	5.8
22	栃木	5.8
22	愛知	5.8
22	三重	5.8
22	滋賀	5.8
28	新潟	5.6
28	愛媛	5.6
30	岩手	5.5
30	兵庫	5.5
32	宮城	5.4
32	長野	5.4
32	静岡	5.4
32	大阪	5.4
32	山口	5.4
32	宮崎	5.4
38	岐阜	5.3
38	京都	5.3
38	香川	5.3
41	和歌山	5.2
41	岡山	5.2
41	鹿児島	5.2
44	山形	5.1
44	高知	5.1
46	島根	5.0
47	山梨	4.6

# 医療・健康部門

「医療・健康部門」からは以下の9指標を選んでいる。

## 【医療・健康部門】

[32] 「1日の休養・くつろぎ時間」とは、その年次の10歳以上人口（男女平均）の、1日の生活時間に占める休養・くつろぎの時間。この値が高ければ無理な生活でなく、地域住民の幸福度が高いとした。

資料は「社会生活基本調査2006年」（総務省）を使用した。

[33] 「1日の趣味・娯楽時間」とは、その年次の10歳以上人口（男女平均）の、1日の生活時間に占める趣味・娯楽時間。この値が高ければ趣味・娯楽にあてる時間が長く、地域住民の幸福度が高いとした。

資料は「社会生活基本調査2006年」（総務省）を使用した。

[34] 「1人当たり医療費」

資料は「国民医療費2009年」（厚生労働省）を使用した。

[35] 「10万人当たり病院＋診療所の病床数」とは、その年次の人口10万人当たりの病院（病床数20床以上）の病床数と診療所（病床数19床以下）の病床数の合計。この値が高ければ医療施設が充実し、地域住民の満足度が高いとした。

資料は「医療施設調査・病院報告の概況2008年」（厚生労働省）を使用した。

[36] 「10万人当たり医師数」

資料は「医師・歯科医師・薬剤師調査の概況2008年」（厚生労働省）を使用した。

[37] 「10万人当たり老衰死亡者数」とは、その年次の人口10万人当たりの老衰死亡者数。この値が高ければ健康な住民が多く、地域住民の幸福度が高いとした。

資料は「人口動態統計2009年」（厚生労働省）を使用した。

[38] 「10万人当たり自殺死亡者数」とは、その年次の人口10万人当たりの自殺死亡者数。この値が低ければ自殺者が少なく、地域住民の幸福度が高いとした。

資料は「人口動態統計2009年」（厚生労働省）を使用した。

[39] 「平均寿命（男）」

資料は「都道府県別生命表2005年」（厚生労働省）を使用した。

[40] 「平均寿命（女）」

資料は「都道府県別生命表2005年」（厚生労働省）を使用した。

順位	都道府県	評点
1	岡山	7.8
2	石川	7.4
3	熊本	7.3
4	富山	7.1
4	香川	7.1
6	愛媛	6.8
7	鳥取	6.7
8	島根	6.6
9	長野	6.4
9	宮城	6.4
9	福井	6.4
12	山梨	6.2
12	三重	6.2
12	徳島	6.2
15	新潟	6.1
16	滋賀	6.0
16	福岡	6.0
18	北海道	5.9
18	岐阜	5.9
18	奈良	5.9
18	静岡	5.9
22	山形	5.8
22	東京	5.8
22	長崎	5.8
22	大分	5.8
26	佐賀	5.7
26	沖縄	5.7
28	千葉	5.6
28	京都	5.6
28	広島	5.6
28	山口	5.6
28	鹿児島	5.6
33	大阪	5.4
34	茨城	5.3
34	群馬	5.3
34	愛知	5.3
34	和歌山	5.3
34	高知	5.3
34	宮崎	5.3
40	神奈川	5.0
41	兵庫	4.9
41	岩手	4.9
43	秋田	4.8
43	福島	4.8
45	栃木	4.7
46	青森	4.4
47	埼玉	4.3

# 【幸福度】ベスト3県の通信簿

【幸福度】第1位～第3位の3県は、それぞれの項目でどのような値を得ているのだろうか。

指標 (詳細は4～7頁を参照)	1位 福井県			2位 富山県			3位 石川県			
	数値	順位	評点	数値	順位	評点	数値	順位	評点	
生活・家族部門	1 出生率	1.55	5	10	1.37	26	5	1.40	21	6
	2 未婚率	32.8	15	8	31.7	8	9	33.9	26	5
	3 転入率	1.14	45	2	1.21	42	2	1.53	29	5
	4 交際費	5.7	42	2	5.8	40	3	7.0	18	7
	5 持家率	77.4	3	10	77.5	2	10	69.1	21	6
	6 畳数	15.37	15	8	17.62	1	10	17.07	3	10
	7 下水道	70.5	17	7	78.6	8	9	77.6	10	9
	8 生活保護	3.0	2	10	2.4	1	10	4.7	8	9
	9 保育所定員	69.7	1	10	47.1	12	8	54.0	6	9
労働・企業部門	10 離職率	28.1	3	10	28.5	6	9	29.8	12	8
	11 労働時間	152.5	42	2	148.9	28	5	147.1	20	7
	12 有業率	62.6	5	10	62.4	6	9	62.2	7	9
	13 正社員比率	64.5	3	10	66.4	1	10	63.7	8	9
	14 就職希望者	79.86	22	6	80.50	9	9	79.68	24	6
	15 就業期間	14.6	17	7	14.6	17	7	14.1	27	5
	16 完全失業率	3.3	2	10	3.9	4	10	4.3	12	8
	17 障がい者雇用	2.25	2	10	1.68	28	5	1.62	35	4
	18 欠損法人	71.7	23	6	69.0	6	9	73.8	40	3
19 平均工賃月額	16,621	1	10	11,577	32	4	13,873	11	8	
安全・安心部門	20 刑法犯認知数	751.8	11	8	703.6	6	9	712.5	7	9
	21 公害苦情件数	70.4	27	5	35.8	4	10	55.2	13	8
	22 交通事故件数	463.0	12	8	534.2	18	7	542.5	21	6
	23 出火件数	27.0	3	10	20.2	1	10	31.2	6	9
	24 労働災害率	1.54	15	8	1.62	22	6	1.16	6	9
	25 地方債現在高	1,032,770	40	3	944,638	36	3	1,029,543	39	3
	26 負債額	342	7	9	437	20	7	706	45	2
	27 貯蓄額	2,048	6	9	1,701	20	7	1,759	17	7
	28 老人福祉費	86.5	20	7	91.7	11	9	92.5	10	9
	29 手助け	6.6	42	2	4.1	16	7	5.6	39	3
	30 悩みストレス	38.1	5	10	41.6	31	4	38.9	9	9
31 相談不可な人	6.2	34	4	6.4	41	2	6.9	45	2	
医療・健康部門	32 休養時間	119	41	2	125	32	4	123	36	3
	33 趣味娯楽時間	166	14	8	169	10	9	173	6	9
	34 医療費	282	23	6	278	20	7	302	27	5
	35 病床数	1642.7	19	7	1749.1	15	8	1796.4	14	8
	36 医師数	228.0	23	6	240.0	19	7	259.2	11	8
	37 老衰死者数	31.5	32	4	38.8	15	8	37.7	17	7
	38 自殺志望者数	23.9	20	7	27.1	34	4	22.0	10	9
	39 平均寿命(男)	79.47	4	10	79.07	12	8	79.26	8	9
	40 平均寿命(女)	86.25	11	8	86.32	7	9	86.46	6	9